

特定外来生物

緊急対策外来種

重点対策外来種

クリハラリス

学名 *Callosciurus erythraeus taiwanensis*
俗称 タイワンリス



台湾原産で、主に動物園動物として輸入されました。1935年に伊豆大島、1951年に江ノ島動植物園にも導入され、逃げ出しています。両施設とも閉園し現在は無くなっていますが、町田リス園では今でも飼育されています。神奈川県では栗色をした腹の個体は少なく、タイワンリスの名で親しまれています。江ノ島から逃げ出してからしばらくは鎌倉市内の社寺林で生息が確認されており、その際に餌付けされ増殖したものが県東部全域へ分散しました。

三浦半島に生息する野生の哺乳類の中で、最も遭遇の頻度が高い種類と言えるでしょう。樹皮を剥ぐ、電線をかじる、果樹園で食害するなど人間社会への影響が大きいので、比較的注目されやすい外来生物です。



クリハラリスに樹皮を剥がされる樹木

生態

冬になると木の上に枝葉を集めたリスの巣が目立ちますが、これは既に放棄されたもので、中にリスはいません。通常は春から夏にかけて、緑の葉のついた枝を集め、茂った樹木の中に短期間使用する巣を作ります。秋になり落葉すると、落葉樹の中に作られていた古巣が目立つことになるのです。

鳴き声を高度に使い分け、仲間同士のコミュニケーションをとります。

警戒声

ワンワン
ブーブー
キキキキッ
ガガガガガ

求愛声

コキコキコキ



冬に見かけるクリハラリスの巣の跡



クリハラリスの巣

影響

三浦半島には在来のリスは生息していません。このためリスの餌資源となる三浦半島の昆虫や植物には、樹上生の小型哺乳類に対する耐性がありません。秋に熟し、動物に食べられることで糞に入った種が遠くまで運ばれる戦略をとるアケビの実も、クリハラリスが初夏に食べてしまうため種子の分散を阻害されてしまいます。

体長が40センチほどとイタチ程度の大きさで、小鳥の巣を襲って卵や雛まで食べてしまいます。現在は生息密度が非常に高く、1haあたり10頭以上確認された事例もあります。三浦半島の緑地面積をかけると6万頭以上生息していることになり、1個体は小さな動物でもその個体数による捕食圧は相当なものです。

一方で、三浦半島でクリハラリスを襲って食べる捕食者はいないため、資源が枯渇するまで増殖し続けることとなります。



小鳥のヒナを食べるクリハラリス



きれいに食べられてしまった果実



三浦半島での分布傾向

全域の樹林に分布しています。電線伝いに移動ができるため、幅が狭い斜面緑地や住宅団地の中の飛び地緑地でも、生息圏を広くとって生息できます。各自治体で駆除を進めていますが、一地域で除去するだけでは、しばらくすると隣接地から侵入してしまうため、地域全体での取り組みが必要です。この個体群の前線は北は横浜市緑区、西は大磯町まで広がっており、封じ込めによりいっそうの努力が必要です。

南方系の動物のため寒さには弱く、ニホンリスの生息地である丹沢、大山、箱根などの標高 1,000 メートル級の山地には侵入できないものと思われます。三浦半島でも侵入当初は越冬期に個体数を減らしていましたが、最近では耐寒性を徐々に高めていると考えられ、注意が必要です。



駆除の方法

箱罠が一般的で、1 個体ずつ捕獲する小型の箱罠と、多頭捕りのために開発された大型の箱罠（ギガント）があります。横須賀市では毎年 4,000 頭前後を捕獲していますが、減少する兆しは見えていません。全国的に見れば、粘り強い捕獲により根絶できた事例もあります。

自宅や果樹園等で被害が発生していたり、生息が確認された場合は、各自治体から小型の箱罠を無料で借り受け、捕獲することができます。個体の回収から殺処分までは指定の業者が行います。

タイワンリスやアライグマの罠貸し出し
(横須賀市) 環境政策部自然環境共生課へ
TEL 046-822-8528

罠の仕掛け方

箱罠に餌を仕掛け、それがリスが良く通る場所からよく見えるように設置します。目で餌を確認してから寄ってくるので、罠を藪に隠したりカモフラージュしてはいけません。よく使われる餌は、種のある柑橘類、落花生、スナック菓子などです。



箱罠にかかったクリハラリス

注意

自宅の天井裏などにクリハラリスが巣を作っていたり、罠や個体に直接手を触れたりすると、感染症の恐れがあります。糞尿を通してウイルスや菌類に感染したり、ダニから SFTS（重症熱性血小板減少症候群）に感染する恐れがあるため、適宜消毒をしたり、使い捨て手袋やマスクを使用するなど公衆衛生上の配慮が必要です。



在来種

分布域は重なっていませんが神奈川県内にはニホンリスが生息しています。腹が白いので区別できます。また、ムササビやモモンガもリスの仲間です。

外来生物

野鳥の雛を襲ったり、昆虫を食べるなど、生態系に対しクリハラリスと同様の影響を及ぼす外来生物にドブネズミとクマネズミがいます。いずれも体長 30 センチ程度と、三浦半島に在来のネズミ類より非常に大きい種類です。